

第37回大東市民まつり（まとめ・案）

1 総括

市制施行60周年を記念して初めて前夜祭と本祭の2日間開催がされ、当協会も前夜祭から物品販売をはじめ両日とも参加した。前夜祭は大した雨もなかったが、本祭は台風の影響で全日雨模様であったにもかかわらず、多くの市民の来場、参加があった。当協会として初めての物販への参加ではあったが、関係者の尽力により予想を超える売り上げがあったこと、またゲーム目当ての子供たちを含め、多数の来訪者があり、協会創立50周年への周知、連盟紹介および市民運動会やマラソンの啓発目的が達成できたと思われる。

2 個別事項

- (1) 備品の用意、事前の積み込み、また当日の設置、後片付け、また清掃担当も各連盟の協力を得られ最後まで、概ね順調に終了することが出来た。
本年も雨にもかかわらず従来と同様、ゲームは午後3時までには終了しており、役割分担は、午前中と撤収を中心に組み立てるべきである。
- (2) 連盟担当者の出席状況は良く、概ね2名以上の応援が得られるとともに、ゲーム担当連盟は10名以上の応援者でもって、時折の強い雨にも関わらず、それぞれの役割を果たしていた。
- (3) 初めての物販については、飲み物は前夜祭では天候も良好で比較的順調な売り上げであったが、本祭は通じての雨のため前日の半分程度に売り上げにとどまった。光り物は、前夜祭限りの短期間の販売にもかかわらず、女性への浸透、また関係連盟の協力、尽力により完売となり利益を上げることができた。
- (4) 連盟紹介や「市民運動会、マラソン」などの参加啓発が出店の主目的であり、掲示板を充実したことから連盟単位では活発な勧誘がはかられ、その目的を達成していると思われるが、結果としては、当日の申し込みはなく、ゲーム代またはそれに対する寄付、加えて連盟の協力、予算を投入したことへの「費用対効果」が達成されているかを検証する必要がある。
今回初めて物販を手掛けたが、今回のように雨などの天候との関係、出店でゲームを無力で提供しているのは当協会だけであること、また隣接する団体は有料にもかかわらず多くの参加者が得られていることなどから、当協会らしい物販の品目やゲームの有料制などを次回、来年度までに検討し、結論付けるべきである。

[第37回大東市民まつり：収支決算]

○収入の部

(単位：円)

費目	決算額	備考
販売売り上げ	116,200	飲み物 27,900 (▲1,870)、光り物 88,300 (△52,040)

○支出の部

費目	決算額	備考
出店テント	7,000	
景品代	8,929	
飲み物代	977	お茶、氷
消耗品	318	紙カップ・皿
販売用・飲み物代	29,770	お茶 8,740、ラムネ 10,530、レモンスカッシュ 10,500
販売用光り物	36,260	
合計	83,254	

※ 差し引き、(116,200－83,254＝32,946)は体育協会予算に計上。

※ 飲み物について、売り切れなかった分は、接客用として活用。